

いずみさの みんなの絆プラン

(第2次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画)

平成27年度～平成32年度



～みんなで支えあい、顔と顔でつながるまち 泉佐野～

平成27年3月

泉佐野市・泉佐野市社会福祉協議会

ごあいさつ

少子高齢化や核家族化が進行する現代社会では、子育てや介護などの家庭内の機能が低下したり、地域においても住民同士のつながりが希薄化するなど、地域福祉を取り巻く環境は大きく変容しきており、虐待や孤立死などの新たな社会問題が起こっております。



このような状況の中、平成23年3月に発生した東日本大震災を契機として、普段の近所づきあいや町会・自治会などの自治活動により、地域で互いに支え合い、助け合うことの重要性が再認識され、そのための基盤となる人と人とのつながり「地域の絆」の大切さが見直されています。

泉佐野市では、地域住民の皆様と共に、行政、社会福祉協議会、各関係機関が協働し、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮し続けることのできるまちづくり」をめざして、平成17年度に「第1次泉佐野市地域福祉計画」を策定し、地域福祉を推進してまいりました。

今回、第2次計画を策定するにあたって、本市の地域福祉を進める基本的な方向性を示した「地域福祉計画」と、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」を一体的に策定することにより、さらに実効性のあるものにしております。

今後は、この計画に基づき、地域福祉を一層推進し、「みんなで支えあい、顔と顔でつながるまち 泉佐野」を基本理念として、行政、社会福祉協議会、市民、福祉関係事業所などが、相互に連携、協力していける地域環境の整備に努めてまいりますので、市民の皆様、関係団体の皆様により一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたりまして、熱心にご議論いただきました地域福祉計画策定審議会・地域福祉活動計画策定委員会の委員の皆様をはじめ、住民座談会や住民アンケートなどを通じて貴重なご意見をいただいた市民の皆様にご心より感謝申し上げます。

平成27年3月

泉佐野市長 千代松 大耕

ごあいさつ

少子・高齢化が進む社会状況の中で、社会的孤立、孤立死、虐待や生活困窮等の問題が増加しており、今まで以上に複雑な生活課題を抱え、既存の制度では支援出来ない、いわゆる「制度の狭間」にいる方が増加しておりますが、これらは地域の支え合いが弱くなっていることが大きな原因であり、地域力が向上すれば多くの方が救われると考えております。



社会福祉協議会におきましては、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」をめざして、皆様とともに地域福祉を推進する役割を担っております。今回の第2次地域福祉活動計画策定を契機にして、地域の支え合いの大切さを今一度考えていただくことで地域力を強化できればと願っておりましたところ、幸い各地区及び団体の皆様の協力を得て住民座談会を開催させていただくことが出来ました。

住民座談会を通じての皆様相互の意見交換により、地域の課題を共有することが出来たことで、今後の活動につなげていただけるものと信じております。

この住民座談会を毎年開催することで、地域力の向上が図られ、誰もが住んで良かったと思える地域が生まれるものと期待しております。

また、今回は市の地域福祉計画と共に策定することにより、両計画の繋がりが深まり、計画を一体的に進めやすくなりました。

今後は、行政・地域住民・関係機関の皆様にご協力いただき、本計画を一步ずつ推進してまいりたいと思いますので、引き続きご支援ご協力よろしくお願いいたします。

本計画の策定にあたり、お忙しい中多大なご苦勞をおかけしました地域福祉計画策定審議会・地域福祉活動計画策定委員会の委員の皆様、住民懇談会・アンケートにご協力いただきました市民の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成27年3月

社会福祉法人 泉佐野市社会福祉協議会
会長 冠 士朗

第2次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画 目次

第1章 計画の策定にあたって	1
1. 策定の背景	2
2. 計画の位置づけ	3
3. 他の計画との関係	5
4. 計画の期間	6
5. 計画の策定方法	7
6. 泉佐野市を取り巻く現状	12
第2章 計画の理念と目標	37
1. 基本理念	38
2. 基本目標	39
3. 基本的視点～地域福祉の推進における自助・共助・公助の位置づけ	40
4. 圏域の考え方	43
5. 各主体の役割	47
6. 計画の体系	50
第3章 計画の重点項目	53
1. CSWを中心とした相談支援体制の確立	54
2. 生活困窮者への支援と体制づくり	57
3. 権利擁護の推進	60
4. 避難行動要支援者への支援と体制づくり	61
5. 福祉を支える人づくり	63
第4章 施策の展開	65
基本目標1 みんなで「参加」しよう!	66
(1) みんなが「いつでも参加しやすいまち」をつくろう	66
①声かけ・あいさつの推進	68
②参加しやすい地域づくり	69
(2) みんなに「参加を呼びかけるしくみ」をつくろう	70
①市民による主体的な参加呼びかけ	72
②地域情報の発信	73
(3) みんなが「交流できる機会」をつくろう	74

①世代を超えた交流機会づくり	77
②地域の団結・生きがいづくり	78
③地域の主体的な健康づくり	79
基本目標2 みんなで「支えあいのまち」をつくろう！	80
(1) みんなで地域の資源を把握し「社会資源マップ」をつくろう	80
①地域の社会資源の把握・情報共有のためのマップづくり	82
(2) みんなで「支えあえるしくみ」をつくろう	83
①地域における支えあいの促進	87
②小学生・中学生のボランティア活動への参加の推進	88
③高校生・大学生のボランティア活動の推進と大学との地域連携	89
④NPO・ボランティアなどの活動の活性化	90
⑤民生委員児童委員活動の充実	91
⑥同じ課題を抱える人のネットワークづくり	93
⑦安定的な地域の自主財源の確保	94
(3) みんなで「安全・安心のまち」をつくろう	95
①防災の推進	98
②福祉避難所の整備	101
③防犯・交通安全の推進	102
④平常時からの見守り活動の推進	103
⑤買い物支援・移動支援の充実	104
基本目標3 みんなの顔が「つながるしくみ」をつくろう！	105
(1) みんなが「つながるネットワーク」をつくろう	105
①要援護者を発見し、地域とともに支えるネットワーク	108
②セーフティネットのための地域福祉ネットワーク会議の設置	109
③専門機関によるネットワーク	110
(2) みんなが「相談しやすいしくみ」をつくろう	112
①地域福祉のワンストップ相談窓口の設置	115
②生活困窮者に対する自立相談支援	116
(3) みんなで「権利擁護のしくみ」をつくろう	117
①権利擁護の推進	120
②市民による後見活動の推進	122

③虐待防止対策の推進	124
(4) みんなが「安心できる福祉サービス」を充実させよう	125
①安心して福祉サービスを利用できる体制づくり	127
②福祉サービス事業者の連携強化	129
基本目標4 みんなで「地域の土壌づくり」をしよう!	130
(1) みんなで「暮らしやすい地域」をつくろう	130
①福祉意識・協働意識の向上	132
②ユニバーサルデザインの推進	133
(2) みんなで「集える場所」をつくろう	134
①各圏域での地域福祉拠点づくり	136
第5章 計画の推進体制	137
1. 地域福祉の推進体制	138
2. 計画の普及啓発	138
3. 計画の進行管理	138
(1) 成果目標と活動指標	138
(2) PDCA サイクルによる進行管理	139
資料編	141
1. 泉佐野市地域福祉計画策定審議会・	
泉佐野市地域福祉活動計画策定委員会 委員名簿	142
2. 泉佐野市地域福祉計画策定審議会 規則	143
3. 泉佐野市地域福祉活動計画策定委員会設置要綱	145
4. 策定の経過	146
5. 用語解説	149

